

**お申込方法**

- ①予約票にもれなくご記入の上、富士国際旅行社あてに郵送またはfaxにてお送りください。
  - ②正式な申込書を兼ねた「海外旅行取引条件書」をお送りいたします。条件確認後、申込金30,000円（旅行費用内金）を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へ振込みにてお支払いください。
- 郵便振替口座番号 00140-4-39332  
加入者名 株式会社 富士国際旅行社
- (申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込み)  
③旅行費用残金は出発1ヶ月前迄にお支払いいただきます

**必要経費の目安**

ご案内の旅行費用以外に、下記の諸費用が別途かかります。

**ご出発前**

- パスポート（旅券）を新たに申請される方
 

印紙代	11,000円（5年旅券）～16,000円（10年旅券）
その他	戸籍抄本（贈本）と住民票の手数料、写真代、葉書代など
- 海外旅行傷害保険（任意）
 

セット保険料（例）	6,250円～12,790円（7日間までプラン）※詳細は手続書案内にて
-----------	-------------------------------------

※ご家族用の保険やクレジットカード付帯保険対応のものまでございます。お気軽にお問合せください。
- 一人部屋追加費用（お一人部屋ご希望される方は下記の費用が生じます）
 

一人部屋希望の場合	42,000円（お一人部屋の方）
-----------	------------------

※お一人参加の方でお二人部屋をご希望された場合でも、最終の人数の調整によってはご希望にそえない場合があります。その場合は上記の費用を申し受けます。
- 前泊ホテル費用
 

※お申し込みいただいた時点での空室状況によって、ご案内以外のホテルになる場合もございます。その場合は、ご連絡して再度ご利用の有無をお伺いいたします。
- 手続き手数料、オプションツアー代、空港税等
 

※詳細につきましては、当パンフレットとお申込み後の案内書をご参照ください。
- 成田空港とご自宅までの交通費
- 成田空港施設使用料・保安料（2,540円）

▶基本発着地以外の空港からの出発をご希望の方はお問合せください  
◎日本国内線の費用はお申込後にご連絡いたします。ご利用の有無の決定は連絡後でも結構です。

- 燃油付加運賃（59,480円）
- 海外空港税（10,160円）
- 航空特別保険料（1,660円）

これら費用は原油価格や為替レートにより変動します。最終の確定は出発の2週間前です。変動が生じた場合は、請求の金額から更に追加集金するか、ご返金いたします。

**ご旅行中** ※下記の金額はあくまでも目安です。

- 食事代（旅程に含まれない自由食1回につき）500円～2,000円
- 飲み物代（飲み物は食事に含まれません）200円～1,000円（1杯）
- 自由行動時の交通費や入場料など
- その他（お土産代、電話・fax、切手などの個人的費用）等

**ご旅行条件**

旅行条件の詳細は「旅行業約款」（受注型企画旅行契約）によります。この旅行は2011年7月14日現在を基準としています。

■旅行契約の解除  
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の33日前迄にお知らせします。

<取消料>  
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

契約の解除期日	取消料
旅行開始前日から起算して遡って40日前以降	旅行費用の10%
旅行開始前日から起算して遡って30日前以降	旅行費用の20%
旅行開始前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始前日当日以降	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

**ご旅行要項**

- 旅行代金に含まれるもの
  - ・航空運賃：個人包括旅行運賃
  - ・ホテル料金：2人部屋基準、税、サービス料含む
  - ・食事代：（旅程表に表記のもの）
  - ・空港、駅～ホテル間の送迎バス料金
  - ・添乗員同行の経費
  - ・鉄道運賃・ガイド料（旅程表に明示したもの）
  - ・旅程表に明示した市内（郊外）見学のガイド料、入場料、チップ
  - ・手荷物運搬料（1人スーツケース1個、重量23kg）
- 旅行代金に含まれないもの
  - ・旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊費、飲食費等
  - ・渡航手続費用：旅券印紙代（5年用11,000円/10年用16,000円）
  - ・渡航手続手数料：0～3,500円
  - ・超過手荷物料金：規定の重量、大きさ、個数を超える分
  - ・個人的諸費用：電話、電報、fax、クリーニング代、追加飲食費用、自由行動時の諸費用等
  - ・お一人部屋追加料金：42,000円（相部屋の方がいない場合も同様）
  - ・空港施設使用料・保安料（2,540円）
  - ・日本国内の交通費、前泊の費用
  - ・傷害、疾病等に関する医療費・任意の旅行傷害保険料
  - ・団費、訪問先へのおみやげ代、視察手配とその関連費用
  - ・訪問国入国税、航空保険料、燃油特別付加運賃
- 時間帯の目やす  
およそ以下の通りです。航空機・バスなどの移動の発着時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4:00	6:00	8:00	12:00	17:00	19:00	23:00
						4:00



プラハの城とワルタワ川

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

**株式会社 富士国際旅行社**

TEL: 03-3357-3377 FAX: 03-3357-3317  
endo@fits-tyo.com 担当: 遠藤/西須/原沢

◎この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 宮庭ビル4階  
総合旅行業務取扱管理者: 太田正一

営業時間: 月～金曜日/AM9:30～PM6:00  
(土曜・日曜・祝日は休ませていただきます。)  
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

**全国青年教職員平和の旅 2011**

**ホロコーストと  
レジスタンス運動の歴史を学ぶ  
チェコ・オーストリア 7日間**

旅行期間 12月25日(日)～12月31日(土)

旅行費用 245,000円 (20～29名様) 238,000円 (30～40名様)

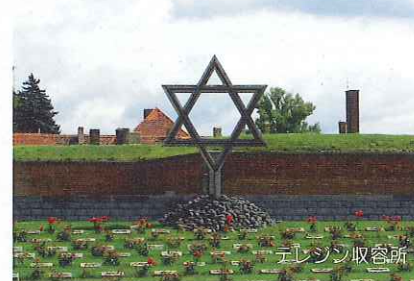
上記旅行費用の他に、成田空港施設使用料2,540円、燃油付加運賃59,480円、空港税10,160円航空特別保険料1,660円などがかります（この費用は変動します。その場合は追加集金または返金いたします）

定員 40名(最少実施人数20名)  
添乗員 成田空港より同行します

申込締切 11月21日(月)  
定員になり次第締め切ります。お申込みはお早めに



プラハ旧市街



テレジン収容所



シュテファン寺院 (ウィーン)

**事前学習会**  
オーストリアの平和教育  
9月24日(土)13:30～15:00  
◆講師: 松岡由季氏  
(『観光コースではないウィーン』著者)  
◆会場: 川崎グランドホテル  
JR川崎駅東口、京急川崎駅から徒歩6分  
◆世界中の若者が平和学を学ぶ『欧州平和大学』で平和学を2年間学んだ松岡さんにオーストリアの取り組み、また平和教育について現地の体験をもとにお話を伺います。

**旅の point**

- 中世の面影を残すプラハと芸術の都ウィーンに連泊
- アウシュビッツへの中継地となったテレジン強制収容所を見学～子どもたちが描いた絵をプラハ市内のピンカスシナゴークで見学～
- 現地の方と交流企画（教員または教育関係者を予定）

企画 全日本教職員組合青年部 企画・実施 (株)富士国際旅行社

株式会社 富士国際旅行社 御中 ●お申込みご希望の方は、下記の子約票にご記入の上、旅行社まで郵送またはファクシミリにてお送りください。退って正式申込書を兼ねた「海外旅行取引条件書」をお送りいたしますので、必要事項をご記入の上、ご返送ください。

**予約票 全国青年教職員 平和の旅シリーズ 2011年 チェコ・オーストリア**

フリガナ	性別	生年月日	19 年 月 日生まれ( )才
氏名	男・女	パスポート	有効旅券（パスポート）【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日
住所	(〒 - )	Email	@
tel自宅 ( )	-	tel携帯 ( )	-



● **ただ見学するだけでない充実の内容**

一般の観光旅行のように各都市を忙しまわるとはならず、連泊してしっかりと見学。現地滞在ガイドからの詳しい話もあり、より有意義に。

● **欠かせない現地の人とのふれ合い・交流**

現地の教職員の方と教育現場のお話などを伺い交流します(予定)。

● **誠実で質の高い現地ガイドで差がつかます**

「いい旅」となるには、ガイドの力は非常に大事。歴史や文化、人々の暮らしなど、その土地・その国の背景から案内できる誠実なガイドがご案内します。

● **充実・親切な案内物・・・事前の学習の資料も**

訪問国・都市・旅のテーマによる詳しい情報資料(訪問国便覧)、滞在都市の地図、各国語ミニ会話集などオリジナルの案内物を説明会にてお渡しします。訪問する国や都市、見学地などの詳しい案内物で事前の学習を。説明会に欠席の方にも資料をお送りします。

● **事前学習会を9月24日(土)に実施**

9月24日(土)13:30から川崎グランドホテルで実施します。オーストリアに2年間滞在していた松岡由季さんにお話しをお聞きし、昨年の旅行参加者が平和の旅の魅力語りです。旅がより深いものになるようぜひご参加ください(別途、出発前の説明会を11月に実施予定)。

● **団体行動中の買い物は強要しません**

一般の旅行のような見学時間を削いでまで買い物をするようなことはしません。訪れた土地の素晴らしさに、じっくりと触れることができる旅。

旅のお誘い



みなさん、こんにちは。全教青年部では、今年も恒例の平和の旅を企画しました。今年にはチェコとオーストリアを訪れ、ファシズムの台頭とユダヤ人迫害の歴史、また抵抗運動や過去の克服のあり方などを学んでいきます。  
全教青年部平和の旅の魅力は、何と云っても、この旅でしかできない「学び」と「交流」です(個人的には、音楽、絵画、建築、そしてとってもおいしい食べ物も!)。  
教科書で知っている歴史でも、実際に自分の足で歩いて自分の目で見ること、大きな発見がたくさんあります。そして自分一人では深められないことも、全国の先生たちと交流しながら学ぶことができます。  
現地の先生たちとの交流では、その国の子どもたちの実態や平和教育の実践などを知ることができます。私たちが職場で日々悩んでいることも、実は共通した悩みであったり、教育現場の問題を解決するために頑張っている若い先生たちがいることも知ることができ、元気をもらいました。  
忙しい毎日ですが、年に一度思いきって世界に目を向けてみましょう!新学期に、子どもたちに伝えたいことがいっぱい帰ってこられます!



都市	交通手段	旅程	宿泊地	食事
① 12/25 (日) 東京・成田発 ヨーロッパ都市着/発 プラハ着	航空機 航空機 専用車	空路✕ヨーロッパ内都市を経由して、チェコ・プラハへ プラハ着後、宿泊ホテルへ	プラハ泊	BX L機 DX
② 12/26 (月) プラハ	公共交通	午前: プラハ市内見学 ●プラハ城 ●聖ヴィート教会 ◎黄金の道 ◎カレル橋 ●ピンカスシナゴーク ◎時計塔 ◎ティン教会 ◎ヴァーツラフ広場(ヤン・パラフの像) 午後: 自由行動	プラハ泊	BH LX DX
③ 12/27 (火) プラハ テレジン プラハ発 ウィーン着	専用車 列車 専用車	午前: 陸路、プラハ北方の町テレジンへ 着後: テレジン収容所見学 ●小要塞 ●テレジニングットー資料館 陸路、列車でウィーンへ(所要時間: 約5時間) 着後、宿泊ホテルへ	ウィーン泊	BH LR DR
④ 12/28 (水) ウィーン	公共交通	午前: シェーンブルン宮殿見学 午後: ウィーン市内見学 ●シュテファン寺院 ◎旧ユダヤ人地区 ◎ひざまずくユダヤ人像 ▶ナチスによる「水晶の夜」事件(ユダヤ人襲撃事件)後のユダヤ人の姿を表わしている 夕刻: 現地の教育関係者の方と交流(予定)	ウィーン泊	BH LR DX
⑤ 12/29 (木) ウィーン		終日: 自由行動 夜: 打ち上げ交流会	ウィーン泊	BH LX DR
⑥ 12/30 (金) ウィーン発 ヨーロッパ都市着/発	専用車 航空機 航空機	陸路、ウィーン国際空港へ 空路✕ヨーロッパ内都市を経由して、帰国の途へ	機中泊	BH LX DX
⑦ 12/31 (土) 東京・成田着				

**おすすめスポット**  
美術史博物館(ブリュッゲル、ペラスカス、フェルメール...名画が自白押し!)  
モーツァルトハウス・ウィーン(『フィガロの結婚』が作曲された家)  
フンダートヴァッサーハウス(「ウィーンのカウティ」の建築家の建築)

●利用航空会社 : ルフトハンザドイツ航空、KLMオランダ航空、エールフランス航空、日本航空、全日空運輸など  
●宿泊予定ホテル: プラハ(ディプロマット)、ウィーン(アナナス)または同等クラス  
●旅程表のマーク: B=朝食、L=昼食、D=夕食、機=機内食、H=ホテルで、R=市内レストランで、機=機内食  
OP=オプション・ツアー、✕=航空機、=バス、=列車または新幹線  
●機内食は、航空運賃に含まれる航空会社が提供するサービスです。有料あるいはサービスが無くなった場合は各自でお取りいただけます。

旅のポイント

● **プラハ**  
百塔の都~中世の街並みが残る旧市街  
建築の野外博物館とも呼ばれる市内には、初期のロマネスク様式からポストモダンまで様々な時代の建物があるので、建築に注目して町歩きをするのも楽しい。カレル1世の時代から急速に発展し、14世紀に建設された多くの建物は今なお健在。ヴァーツラフ広場は、チェコの現代史のシンボル。第一次世界大戦末期に独立を要求するデモが繰り広げられ、「プラハの春」で1968年ワルシャワ条約機構軍の戦車が市民と対峙した。89年のビロード革命の時には、50万人の市民が集まり、後に大統領となるヴァーツラフ・ハヴェルが新政権樹立を宣言した。

● **テレジン収容所**  
ナチス・ドイツの旧チェコスロバキア国内最大の収容所  
テレジンにはプロシアからボヘミアを守るため1780年にチェス版を模して建造された大小の要塞がある。1940年ナチス・ドイツは当時のチェコスロバキア最大の強制収容所を造り、ユダヤ人、チェコ人、スロヴァキア人のレジスタンスたちが各地から送り込まれ、アウシュビッツへ送られた。14歳未満の子どもも含まれ、生還できたのはわずかだった。1945年5月7日ソ連軍に解放されたが、撤退するドイツ軍が処理し切れなかった荷物の中から子どもたちが描いた4000点もの絵が発見された。それらの絵はテレジン・ゲットー資料館やプラハのピンカスシナゴークで公開されている。



テレジン強制収容所

● **ウィーン、古くて新しい都市**  
芸術の都~ハプスブルク帝国で栄えた街  
バロックからユーゲントシュティルを経て現代まで、数多くの歴史的建築があり、100以上の博物館・美術館がある。ドナウ河沿いの交易地として発展したウィーンは1278年よりオーストリア公となったハプスブルク家の支配下におかれた。14世紀に大きな発展を遂げ、この時代にシュテファン寺院やウィーン大学が建てられた。一時はオスマン帝国による第一次ウィーン包囲など、欧州全体を震撼させる事件もあったが、ハプスブルク家のもとで帝都ウィーンでは華やかな貴族文化が栄えていた。モーツァルトやベートーヴェンが住んだ音楽の都で、世界的に名高いオペラハウスやコンサートホールがある。



ウィーン中心部

● **シェーンブルン宮殿~「美しい泉Schöner Brunnen」**  
ハプスブルク家の権勢を象徴する宮殿  
1569年にマクシミリアン2世が狩猟の館として入手。マリア・テレジアの末娘マリー・アントワネットは15歳でフランス王家に嫁ぐ迄、夏の宮殿としてここで育った。モーツァルトが6歳のときに御前演奏したのもこの宮殿。他にナポレオンがウィーンを占領した際の宿舎、また1961年にはケネディ・フルシチョフ会談が開かれた。1441室あり、ボヘミアンクリスタルのシャンテリア、豪華な金箔を張った漆喰装飾などため息が出る。



ウィーンのカフェ



▶ウィーンでは、ハプスブルク時代の歴史と伝統のあるお菓子やケーキが現在もそれぞれ秘伝のレシピで作られ続けている。ザッハートルテは、1832年に体を壊したシェーフェの代わりに16歳の見習いのフランツ・ザッハーが作ったもの。アプフェルシュトウル・デル、カイザー・シュマーレンなど温かいデザートもある。ウィーンで人気のメランジェと一緒にいかがでしょうか。

チェコのビール

▶ビールの一人当たりの消費量が世界一のチェコ。19世紀半ばにブルゼニユで作られたビールは上質で味がよく澄んだ琥珀色をしていた。これはブルゼニユの水がビールに適していたため。町の名前からドイツ語でピルスナー、チェコではブルゼニユスキーと呼ばれるようになった。それぞれの地方に自慢の銘柄があり、特定の店でしか飲めない自家醸造ビールもある。バドヴァイザーは代表的な銘柄。



※世界的に有名なピルスナー・ウルクェルはブルゼニユ産のビール

